

2019
2・4

月4回
月曜日発行

第1088号

週刊ビル経営

発行所 (株)ビル経営研究所
〒104-0061
東京都中央区銀座7-17-12 2F
TEL 03 (3543) 7421
FAX 03 (3543) 5839
発行人 垂澤清三
年間購読料25,000円(税別)
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS
亀岡大郎取材班グループ

JLL森井鑑定新社長就任会見開催 事業多様化でビッグ3を追撃

不動産鑑定業界のビッグ3に食い込んでいくことができるだろうか。新社長が就任したJLL森井鑑定は今後の事業として従来の鑑定業務を核に据えながら、オルタナティブアセットの鑑定やインバウンド・アウトバウンドの業務にも対応する。伝統と外資のシナジーを狙うようだ。

JLL森井鑑定(東京都中央区)は先月16日付で代表取締役社長に永野誠氏(前執行役員COO)に就任した。また執行役員副社長に武部康博氏(前執行役員CVO)が就き、森井正太郎氏は名誉会長となった。

同社は2016年3月にJLLグループに参画。2017年8月に外資系鑑定のチームが移籍し、外国人投資家向けの鑑定事業を開始。その後昨年7月にはリサーチ担当者を設置しオルタナティブ資産の本格レビュー、12月に日本初となるファンド分析レポートサービスを開始。今年5月にはJLL鑑定子



▶新社長に就任した永野誠氏

生の所属人数も伸ばす。一方で不動産鑑定士のバックグラウンドは多様で「鑑定業から多様な業から多様な不動産評価、企業評価、不動産評価などの「不動産以外の評価」、JLLのグループ力を生かした「CREコンサル」、またマーケットリサーチレポートや内外投資家向けの情報発信だ。

「森井鑑定時代から築いてきた信頼と実績」このサービスでは力量が試される。また国内機関投資家向けのサービスも強化する。昨年12月に同社はオルタナティブ投資商品に関する投資家向けの分析・評価レポートサービスを発表。運用難のなかで株式や債権などの伝統的資産以外のオルタナティブ資産への注目が集まっている。一方でこのような適切な評価・管理するのは容易でなく、リソース確保や体制整備が課題となっている。新社長の

今週の注目記事

- ⑧ 不動産経営者倶楽部 新春勉強会 紙上再現
- ⑩ 安価で設置もカンタン 電子錠でセキュリティ強化
- ⑫ 不動産新興企業の戦略 テック活用と多角化
- ④ 三菱地レジ、博多で「Reビル事業」
- ⑫ ホテル運営会社 次の一手を探る
- ⑭ 貸ビル街探訪 北九州市編
- ⑱ クローズアップ オンライン不動産投資編